

三大悲劇詩人の一人 エウリピデスを学ぶ。

(全10回)

第1回 6月6日[火]

エウリピデスについて

- (1)人と作品 (2)伝統からの逸脱——新しいドラマトゥルギー
- (3)エウリピデス劇の意味するもの (4)後世への影響

第2回 6月13日[火]『エレクトラ』を読む——クリュタイメストラの弁明

第3回 6月27日[火]『オレステス』を読む——知と連帯

第4回 7月4日[火]『メディア』を読む——裏からの声

第5回 7月11日[火]『ヘレネ』を読む——新ヘレネ

第6回 10月31日[火]『ヒッポリュトス』を読む——パイドラ豹変する

第7回 11月7日[火]『アルケスティス』を読む——四番目の劇

第8回 11月21日[火]『トロイアの女たち』を読む——時代を撃つ

第9回 12月5日[火]『バッコス教の信女たち』を読む——武具と女衣

第10回 12月19日[火]まとめ

(※1回のみの参加も受け付けております)



■講師 丹下 和彦(大阪市立大学名誉教授・古代ギリシア文学者)

■時間 19時~21時半(途中休憩あり)

■料金 1回1,000円

■対象 演劇経験不問。ギリシア劇を学びたい方ならどなたでも歓迎いたします。

■お申し込み方法 参加ご希望の方は、

- ①お名前、②ご連絡先(電話番号・メールアドレス)を、
下記、劇団メール宛に、お知らせ下さい。

*お申し込みされた方には確認のため、info@seiryu-theater.jpより返信させて頂きますので、事前にこちらのメールアドレスが受信できるよう設定しておいてください。

■お申し込み締め切り日 各回実施の2日前

■お申し込み・お問い合わせ 清流劇場 E-Mail:info@seiryu-theater.jp
WEB:<http://seiryu-theater.jp>

人間への眼差し、人間心理への飽くなき追求。

おおよそ2400年前の作品でありながら、色褪せることなく私たちを引きつけるギリシア劇。

時代の風雪に耐え、これまで残ってきた不朽の名作群を紐解きながら、《人間存在をどのようにとらえるか》・《いかにして自らが、より精神的豊かさを携えて、生きるか》をテーマに、ギリシア劇をもっと深く学んでみたいと思い、この勉強会を企画しました。

丹下和彦先生も講師役を快諾してくださいました。

貴重な機会です。どなた様もふるってご参加ください。

田中孝弥

■会場 南会所

(一心寺シアター倶楽の近くです)

〒543-0062 大阪市天王寺区逢坂2-7-17

*各線「天王寺」駅下車。

あべちか6番出口を北へ徒歩8分。

*地下鉄谷町線「四天王寺前夕陽ヶ丘」駅下車

4番5番出口を南へ徒歩8分

■会場のお問い合わせ

一心寺シアター倶楽:06-6774-4002



■企画 清流劇場

■協力 一心寺シアター倶楽